



きりんぐみだより 12月

2018年12月3日 保土ヶ谷保育園

きりん組担任

運動会を振り返って

保育園生活最後の運動会が終わり、子どもたちはまた一つ体も心も大きくなったのではないのでしょうか。今年の運動会では、日々の活動の中で楽しんできた活動を運動会の種目に取り入れ、子どもたちは堂々とした演技を見せてくれましたね。保土ヶ谷地区センターに大きな子どもたちの声が響き渡り、「ソイヤ」ではカッコいい姿をみせてくれ沢山の歓声をもらい自信が付いた事でしょう。また、保護者の皆様には綱引きで汗を流してもらい盛り上がりました。一つ一つの内容が子どもたちには印象的だった様で、運動会が終わっても、運動会を振り返る話をしている姿を見かけます。翌週には金メダルを子どもたちに渡しました。改まった感じでメダルを受け取る子どもの姿が微笑ましく見えました。

秋を感じて

一年で最も公園などの木々がきれいに染まる秋！散歩に出かける機会が多く、沢山の秋を見付ける事が出来ました。保育室にも秋を飾りました。大きな松ぼっくりを見せると「カナダ産の松ぼっくりでしょ？」と声を掛けてきたり、「どこで拾ったの？」と声を掛けてきたりする子どもの姿が見られました。松ぼっくりはアイロンビーズで飾りをつけ、拾ってきた落ち葉は絵の具を塗って落ち葉スタンプにしました。落ち葉スタンプを楽しんだ際には、想像していたスタンプより綺麗に出来た様で「わーきれい」と出来上がった作品に満足そうな子どもたちでした。

《お弁当を作って出かけよう》

運動会が終わり、秋の遊びが盛んになる頃、自宅から持ってきたお弁当箱に給食を詰め、保土ヶ谷公園へ出かけてきました。普段から給食の盛り付けを行っている子どもたちなので、慣れた手つきで給食をお弁当箱に詰めていきます。

お弁当の準備が出来たら出発です。いつもは保土ヶ谷公園の一番上まで一気に向かうのですが、今回は、野球場手前でお弁当タイム！ポカポカと陽射しが心地よい中、噴水を囲んでお弁当を食べました。いつも残食の無いきりん組ですが、この日も同様によく食べ、別に用意しておいたおかわりも全部なくなり、帰りの職員のカバンは軽くなりました（笑）

お弁当を食べ終わると早速遊びが始まり、点字ブロックのラインを使ってボールが転がるコースを作ってコースアウトしないでゴールできるか競争したり、細いポールをバランスをとりながら渡り次の場所へ移動！いつもの長いすべり台へ到着し遊んだり森の中で探検したりしながら昼過ぎまで思いっきり遊びました。

《カイコがやってきた！》

きりん組にカイコがやってきました。その姿を見た子どもたちは、「この虫何？」「気持ち悪い」「何食べるの？」など思った事を口にしていました。朝の集まりでカイコについて話をすると興味津々の子ども達。昔は冬になると家でカイコを飼っていたんだよ。と伝えると何の為に飼っていたの？と疑問を持つ子どもたち。カイコは繭を作ってそれで糸を作るんだよ。と教えると「きりん組のカイコも糸を出すの？」と声を掛けてきました。きりん組では繭になったら運動会のTシャツみたいに繭を綺麗な色に染めようとおもうんだ。と伝えると「やったー」と子どもたち。カイコがどのように繭を作りだすのか皆で観察していきたいと思います。

12月の保育

- ◆冬の生活の仕方が分かり、風邪のどの予防を意識する。
- ◆寒さに負けず、戸外で思いっきり身体を動かして遊ぶ。
- ◆目的に向かって友達と協力したり、工夫したりしながら遊ぶ。
- ◆冬の訪れに関心を持つ。
- ◆様々な素材や用具を使って表現する事を楽しむ。

お知らせ

- ◆12月はお楽しみがいっぱい！子どもたちも楽しみにしている様子です。そこで今月のクッキングは、ホールケーキをグループ毎に作る計画です。
- ◆年末には自分たちの住む街の様子を見たり体験したりしながら年末の様子を知っていただきたいと思います。